

区計画の柱1

支援が必要な人が支援につながる仕組みづくり

取組内容 障害等があっても、必要な情報を得る機会や仕組みをつくります

神奈川県地域自立支援協議会(以下「協議会」)では、障害のある方とご家族がより暮らしやすい地域を目指し、課題解決に向けた取組を行っています。

協議会は、事務局を区、**神奈川県基幹相談支援センター**、神奈川県生活支援センター、区社協が担い、区内の障害福祉サービス事業所や医療機関、教育機関、当事者の方等、幅広いメンバーで構成しています。

協議会では、所属するメンバーで課題解決に向けた意見交換や交流の場を設けているほか、援助者のスキルアップの研修会、広く区民に向けた障害理解の啓発活動、障害のある方の余暇活動支援などを行っています。

平成28年12月から協議会のホームページを公開し、協議会の活動報告や、障害福祉に関する役立つ情報を積極的に配信しています。

※神奈川県基幹相談支援センター

平成28年4月に設置。「かながわ地域活動ホームほのぼの」が運営しています。主に障害のある方やご家族への相談支援、障害福祉のための地域づくりに取り組んでいます。

取組内容 認知症を理解し、支え合える機会を増やします

認知症になっても住み慣れたまちで生活できるよう、地域や関係機関が協力して啓発を進めています。

中でも、高齢者と接する機会が少ない小中学生やその親世代、大学生の皆さんへのアプローチに力を入れています。

平成28年10月には、区と区内8か所の地域ケアプラザ等と協力して、小学校のPTA役員の方に認知症サポーター養成講座を行いました。

参加者からは、「認知症を身近に感じサポートの仕方がわかった」「近所にはお年寄りが多いので、子どもたちにも是非学んで欲しい」など、ご好評いただきました。

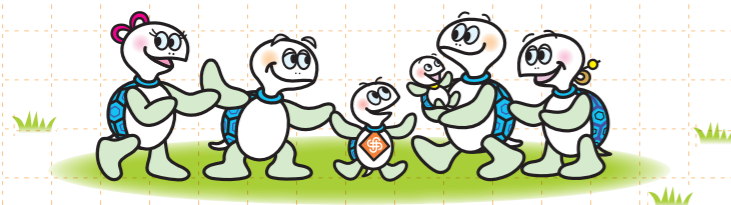
その他にも、六角橋地域ケアプラザと神奈川大学の学生、自治会町内会、地元商店街、地元企業が協力し、認知症啓発の内容を印刷したランチョンマットを店舗などで活用して、認知症啓発キャンペーンを実施しました。

今後も、認知症の正しい理解と接し方に関する啓発を行っていきます。

認知症啓発ランチョンマットでお知らせしている

認知症の人との接し方 “3つのない” プラス1

- 1 驚かせない
- 2 急がせない
- 3 自尊心を傷つけない
- + 否定しない



ホームページをぜひご覧ください
<http://kanajisikyo.org/>



携帯からでも
ご覧いただけます



神奈川大学の学生が街頭で認知症啓発



配布した認知症啓発ランチョンマット

区計画の柱2

健やかで心豊かに生活できる地域づくり

取組内容 働き・子育て世代の健康づくりを応援します!

仕事や子育て等で忙しい働き・子育て世代に、健康づくりに関心を持ってもらうため、保健活動推進員や食生活等改善推進員(ヘルスマイト)が、ウォーキングなどの健康づくりイベントや、食に関する講座を地域で開催し、身近なところで啓発を行っています。

保健活動推進員は、ウォーキングや体操教室を実施しています。他にも、血管年齢測定などの健康チェックや、乳がんモデルを使った触診体験を行うなど、日頃の生活習慣の大切さを呼びかけています。

ヘルスマイトは、幅広い世代に向けて、バランスの良い食事や野菜摂取、減塩などの普及啓発を行っています。平成28年度には、初めてイオン東神奈川店を会場に、野菜計量クイズを行い、1日に必要な野菜の摂取量(350グラム以上)の啓発や野菜をたくさんとるための工夫など、ライフスタイルに合わせたアドバイスをを行いました。

血管年齢測定中



お買物途中で、野菜計量クイズに挑戦!

区計画の柱3

地域を支える人材を支援する仕組みづくり

取組内容 「サロン」の運営を支援します!

計画を進めていく中で、高齢者等が地域で集う「サロン」が増え、区内では70を超える数のサロンが立ち上がっています。地域に「集う場」ができたことで、交流が広がっただけでなく、「困りごと」を気軽に、早めに相談できる場にもなっています。

区社協では、サロン活動を展開している皆さんの活動支援を目的に、「サロン連絡会」を開催しています。

平成28年度の連絡会では、研修会を開催し、サロンが交流の場だけでなく、見守りや生きがいづくりの場としていくことも求められている中で、サロン活動の目的や意義を再確認しました。また、助成金制度を設け、サロン活動に必要な文具・茶器代や会場費等を助成しています。



楽しく集える「サロン」が増えています

区計画の柱4

身近な支えあいの仕組みづくりとそれを推進する体制づくり

取組内容 皆さんとともに、より良い地域づくりに取り組みます!

区、区社協、地域ケアプラザは、地域の会合や様々な行事等に参加し、地域の方と顔の見える関係をつくり、地域が抱える様々な課題の解決に向けて一緒に考え話し合い、行動していくことを目指しています。

これからも皆様とともに、「この町に住んで良かった」と感じていただけるような地域づくりを進めていきます。

